

関東学院大学 国際文化学部 10周年記念シンポジウム



Yokohama Crossover

変わりゆく街に交差する物語

日程: **2025年11月8日(土)**

時間: **15時~17時** (14時半開場)

場所: 関東学院大学 横浜・関内キャンパス **901教室**
(JR関内駅から徒歩2分)



参加申し込みQR

お問い合わせ先

関東学院大学 学部庶務課 (国際文化学部)
TEL: 045-786-7056 (平日9時~16時)
EMAIL: gakusho11@kanto-gakuin.ac.jp



Keisuke TAKAI



Takaaki YAGISAWA



Takashi UTSUMI

- ## PROGRAM
- 1 高井 啓介**
関東学院大学教授
「校訓『人になれ 奉仕せよ』の実践として
— 横浜における多文化共生の意義」
 - 2 八木澤 高明**
ノンフィクション作家
「娼婦たちからみた横浜
— 黄金町で出会った娼婦たちの物語」
 - 3 内海 孝**
東京外国語大学名誉教授
「砂利と生糸の近代史
— 眼に見えない意味を拓いて」

参加
無料

手話通訳
付き
(ろう通訳)

主催: 関東学院大学国際文化学部

国際文化学部創立10周年

学部を刷新しさらなる地域社会への貢献を

鄧 捷 とう・しょう 国際文化学部 学部長



国際文化学部創立10周年シンポジウムでは、横浜に造詣の深い3名の講師を迎えて、多面体のように異なる相を持ち、過去から現在へと変わり続けてきた都市の物語を語ってまいります。のどかな海辺の村(「横の浜」)から、外国の文化を吸収し、多様なルーツを持つ人びとが暮らす、港湾都市「YOKOHAMA」へと変身したその場所は、多文化共生が孕むさまざまな課題を歴史的に背負った「生」の現場でもあります。一様ではない「共生」の内実が問われる今だからこそ、歴史的な葛藤と先人たちの知恵に満ちた、横浜の物語に目を向け耳を傾けましょう。

Speakers

内海 孝 うつみ・たかし

東京外国語大学名誉教授。横浜をはじめハワイ、ニューヨークなど地域研究および多文化交流史に携わってきた。『原三溪翁伝』の出版に向け市民研究会を立ち上げたほか、大佛次郎に関する研究等もある。2010年に横浜文化賞受賞。『横浜開港と境域文化』『感染症の近代史』などの著書がある。

八木澤 高明 やぎさわ・たかあき

1972年神奈川県横浜生まれ。ノンフィクション作家。写真週刊誌専属カメラマンを経てフリーランス。国内では横浜黄金町をはじめとして色街の取材を重ね、海外ではネパールやフィリピンなどを拠点としている共産党毛沢東主義派による武装闘争を取材。2012年『マオキッズ毛沢東のこどもたちを巡る旅』で小学館ノンフィクション賞優秀賞受賞。著書に『黄金町マリア』『ストリップの帝王』『裏横浜—グレーな世界とその痕跡』『忘れられた日本史の記憶を旅する』『軍都の陽炎』など多数。

高井 啓介 たかい・けいすけ

関東学院大学国際文化学部教授・大学宗教主事。2018年より現職。専門は、旧約聖書学・宗教学。大学ではキリスト教学関連科目を担当。2023年冬より関内キャンパスで『クリスマス・アカデミー』を担当し、横浜と関東学院とクリスマスのつながりと意味を地域の方々に知っていただくイベントを、学長との対談形式で実施している。

関東学院大学 横浜・関内キャンパスへのアクセス

JR関内駅南口(スタジアム側地上改札口)から徒歩約2分

〒231-0031 横浜市中区万代町1-1-1

